

「東京都生物多様性地域戦略」の将来像に関する検討のポイント

1 作成目的

- 東京の自然や人と自然との関係のあるべき姿（将来イメージ）について、都民から幅広く意見をもらい整理する。
- 東京の生物多様性に関する将来イメージを示し、都民・企業に幅広く読んでもらうことで、東京の自然に関する理解を促進し、関心を高める機会とする。

2 対象者と記載イメージの方向性

● 都民全般

中学生が理解できる分かりやすい内容にすることで、幅広い世代の都民に東京の自然を理解してもらい、生物多様性推進への共感と協力（主流化）につなげていく。

→将来を担う東京の若者に、東京の自然の魅力や役割について理解促進

→都民だけでなく、都外や海外への発信も想定

● 都内で活動する企業・NPO 等

東京の自然や人と自然との関係のあるべき姿を示し、SDGs への貢献についても整理することで、企業・NPO 等による生物多様性の保全と利用の取組を促す。

→あるべき姿を共有することで、企業・NPO 等の各主体の連携を促進

→SDGs 教育が始まる若者に、東京の自然に関する社会的課題について提示

3 生物多様性と SDGs

(1) 東京の自然の特徴(下記図の第1層)

①東京における骨格となる自然／②自然の機能・役割／③東京の自然のあるべき姿

(2) 持続可能な人と自然との関わり(下記図の第2層及び第3層)

①東京の自然と都民生活／②世界の自然に支えられている東京の経済と生活

<SDGs のウェディングケーキ>

